



第7回  
上智大学  
国連Weeks  
2017年  
5月29日(月)~6月9日(金)

「国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について一緒に考えてみませんか？」をテーマに開催している「上智大学国連Weeks」。第7回目を迎える今回は5月29日から6月9日の期間にさまざまなイベントを実施します。みなさんぜひご参加ください。



Event 1

報道の自由と  
ジャーナリストの保護について  
2つのパネルディスカッション

6/2  
[FRI]

Event 2

シンポジウム  
国連と多国間主義の将来

6/5  
[MON]

Event 3

国際協力分野で  
活躍されている皆さんとの  
貴重なクロストーク

6/6  
[TUE]

Event 4

平和構築を通じた  
日本の国際貢献の  
可能性を探るセミナー

6/7  
[WED]

Event 5

シンポジウム  
緊急時における教育支援  
人道支援NGOの役割とこれから

6/8  
[THU]

Event 6

SDGs達成に向けた  
国連機関と  
グローバル企業の協働

6/9  
[FRI]



# 報道の自由とジャーナリストの保護

「意見及び表現の自由」の調査を担当する国連特別報告者David Kaye氏をお迎えし、国連人権委員会に提出されるレポートについて報告を行う他、報道の自由やジャーナリストの保護についてパネルディスカッションを開催します。

日時／ 6月2日(金) 17:00～19:45 (開場16:30)

場所／ 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容／ **パネルディスカッション1**

## 「ジャーナリストが直面する危機とその保護」

米国側：Steven Butler 氏 (Asia Program Coordinator CPJ)  
Kathy Gannon 氏 (CPJ) ※CPJ=Committee to Protect Journalists

日本側：伊藤 芳明 氏 (日本記者クラブ理事長、毎日新聞論説特別顧問 (前主筆))  
澤 康臣 氏 (共同通信社・特別報道室記者)  
コーディネーター：植木 安弘 教授 (総合グローバル学部)



Steven Butler氏



Kathy Gannon氏



伊藤 芳明氏



植木 安弘教授

**パネルディスカッション2**

## 「報道の自由とジャーナリズムの課題」

米国側：Martin Fackler 氏 (NYTimes・元東京支局長)  
David Kaye 氏 (国連特別報告者、カリフォルニア大学教授)  
Sandra Rowe 氏 (CPJ)  
David Schlesinger 氏 (Index on Censorship 代表、  
元トムソン・ロイター中国 代表)  
Jacob Weisberg 氏 (Slate Group 代表)

日本側：外岡 秀俊 氏 (フリージャーナリスト、朝日新聞社・元編集局長)  
他2名  
コーディネーター：音 好宏 教授 (文学部新聞学科)

言語／ 英語・日本語 (日英同時通訳あり)

対象／ 本学学生および教職員、高校生、一般の方 **要事前申込**

主催／ 上智大学 上智大学メディアジャーナリズム研究所

後援／ Committee to Protect Journalists (CPJ)



Martin Fackler氏



David Kaye氏



Sandra Rowe氏



David Schlesinger氏



Jacob Weisberg氏



外岡 秀俊氏



音 好宏教授

### シンポジウム

## 「国連と多国間主義の将来」

トランプ大統領が掲げる米国第一主義や他国にみられる排他主義が台頭し、多国間主義の潮流に逆行し、国連の存在をも疑問視する動きがあります。今後の多国間主義の動向を俯瞰するとともに国連の意義について考えて議論します。

日時／ 6月5日(月) 17:30～19:30 (開場17:00)

場所／ 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容／ **基調講演**

## 「国連と多国間主義の将来」 David Malone 国連大学長

**パネルディスカッション**

田 仁揆 氏 (元国連政務官)  
長谷川 祐弘 氏 (日本国際平和構築協会理事長、  
国連事務総長特別代表 東ティモール担当)  
東 大作 准教授 (グローバル教育センター)  
弓削 昭子 教授 (法政大学大学院政治学研究科、元UNDP事務次長補)  
モデレーター：植木 安弘 教授 (総合グローバル学部)

言語／ 英語・日本語 (日英同時通訳あり)

対象／ 本学学生および教職員、高校生、一般の方 **要事前申込**

主催／ 上智大学



David Malone氏



田 仁揆氏



長谷川 祐弘氏



東 大作准教授



弓削 昭子教授



植木 安弘教授

## 「国際機関と国際協力分野でのキャリア形成」

国際機関や国際協力分野でのキャリアを考える皆さんへ、様々なフィールドの第一線で活躍されている本学のアドバイザーネットワークの皆さんにお越しいただき、来場者参加型のクロストークセッションを行います。ぜひご参加ください。

日時／ 6月6日(火) 17:00～18:30 (開場16:30)

場所／ 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

アドバイザー／ 赤坂 清隆 氏 (フォーリン・プレスセンター理事長)  
 岩切 聡 氏 (国際協力機構 (JICA) 上級審議役)  
 川上 千春 氏 (日本UNESCO協会連盟事務局長)  
 近藤 哲生 氏 (国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所駐日代表)  
 千賀 邦夫 氏 (セーブ・ザ・チルドレン事務局長)  
 根本 かおる 氏 (国連広報センター 所長)  
 福嶋 香代子 氏 (外務省 外交史料館館長)  
 横山 正 氏 (アフリカ開発銀行アジア代表事務所代表)  
 他に国連高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所より1名参加予定  
 コーディネーター：植木 安弘 教授 (国際協力人材育成センター所長)



SHRIC学生懇談風景

対象／ 本学学生、高校生、一般の方

要事前申込

主催／ 上智大学国際協力人材育成センター

### 平和構築セミナー

## 「フィリピン・ミンダナオ和平と日本の貢献」

日本が深く関わるミンダナオ和平プロセスやその後の復興を支えるJICA事業、日本企業の活動などを紹介。平和構築を通じた日本の国際貢献、経済開発の可能性を探ります。

日時／ 6月7日(水) 18:00～20:00 (開場17:30)

場所／ 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容／ **現地報告** 中坪 央暁 氏 (国際開発ジャーナル社編集委員)  
 MILF 幹部、農民リーダー等の現地関係者ビデオメッセージ

### パネルディスカッション

加藤 聡 氏 (株長大マニラ事務所長)  
 川島 緑 教授 (総合グローバル学部)  
 中川 享之 氏 (国際協力機構 (JICA) 平和構築・復興支援室 企画役)  
 土肥 優子 氏 (国際協力機構 (JICA) 客員専門員)

対象／ 本学学生および教職員、高校生、一般の方

要事前申込

共催／ 独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
 上智大学国際協力人材育成センター



中坪 央暁氏



ミンダナオの現地より



加藤 聡氏



川島 緑教授



中川 享之氏



土肥 優子氏

### シンポジウム

## 「緊急時における教育支援 - 人道支援NGOの役割とこれから」

世界で教育を受けていない学齢期の子どもの半数は、紛争や自然災害に影響を受けた社会に住んでいます。この様な状況に際し迅速に活動し、「緊急期の教育ミニマム・スタンダード」研修を通して教育支援の質向上を図っている国内・国際NGO団体による議論を行います。

日時／ 6月8日(木) 17:00～19:00 (開場16:45)

場所／ 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容／ **クロストーク**

### 「シリアのいま：これまでの教育、これからの教育」

Raghad Adli 氏 (難民を助ける会 (AAR Japan) スタッフ)  
 小松 太郎 教授 (総合人間科学部教育学科)



Raghad Adli氏



小松 太郎教授

### パネルディスカッション

### 「緊急時の教育支援とキャリアとしてのNGO」

五十嵐 豪 氏 (難民を助ける会 (AAR Japan) プログラム・マネージャー)  
 塩畑 真里子 氏 (セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ) 海外事業部部長代行)  
 鈴木 さおり 氏 (元ジャパン・プラットフォーム (JPF) NGO能力強化研修事業オフィサー)  
 山本 英里 氏 (シャンティ国際ボランティア会 (SVA) 事業サポート課長)

モデレーター：小松 太郎 教授 (総合人間科学部教育学科)



ホストコミュニティの子どもたち ©PWJ

対象／ 本学学生および教職員、高校生、一般の方

要事前申込

主催／ 上智大学国際協力人材育成センター

後援／ 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、教育協力NGOネットワーク (JNNE)



アフガニスタン図書館支援事業 ©SVA

# SDGs達成に向けた 国連機関とグローバル企業の先進的取組

SDGs (Sustainable Development Goals) の達成には国家レベルから市民レベルまで多くのプレーヤーによる取組が必要です。今回はグローバル企業と国連機関とのSDGsを推進する先進的な協働の取組を紹介します。

**日時** 6月9日(金) 15:15～18:00 (開場14:45)

**場所** 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

**内容** 取組み事例報告&パネルディスカッション

**対象** 本学学生および教職員、一般の方

**要事前申込**

**共催** グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)  
上智大学

UNDP (国連開発計画) × 富士通(株)

青柳 仁士 氏 (UNDP 駐日代表事務所 副代表補・上席渉外広報官)  
藤崎 壮吾 氏 (富士通(株)CSR 推進室シニアディレクター)

ILO (国際労働機構) × (株)アシックス

田口 晶子 氏 (ILO 駐日代表)  
(株)アシックス)

UNICEF (国連児童基金) × サラヤ(株)  
マイクロソフト(株)

木村 泰政 氏 (UNICEF 東京事務所代表)  
更家 悠介 氏 (サラヤ(株)代表取締役社長)  
澤 円 氏 (日本マイクロソフト(株) マイクロソフトテクノロジーセンター長)

モデレーター: 浦元 義照 (グローバル教育センター特任教授)

総合司会: 鈴木 真代 氏 (デロイトトーマツコンサルティングCSR・SDGs推進室コンサルタント)



あなたも応募して世界につながろう!

## 持続可能な開発目標 (SDGs) 学生フォトコンテスト2017

**募集期間** 4月20日(木)～8月30日(水)

**応募資格** 大学生、短大生、大学院生、専門学校生  
(国籍不問。海外在住の方も可)

**賞の種類** 大賞 (外務大臣賞) 1点  
優秀賞 3点  
特別賞 (TOGETHER賞) 1点  
特別賞 (コンセプト賞) 1点  
入賞

**審査員** レスリー・キー 氏 (写真家)  
大野 明 氏 (朝日新聞東京本社 映像報道部長)  
木村 祐一 氏 (よしもとクリエイティブ・エージェンシー お笑いタレント)  
水島 宏明 教授 (上智大学文学部新聞学科 教授)  
マーク・ガーデン 氏 (国連広報局 国連写真ユニット長)

TOGETHER 賞審査チーム

国際労働機関 (ILO)、国際移住機関 (IOM)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、  
国連広報センター (UNIC)、国連児童基金 (UNICEF)、国連大学 (UNU)

コンセプト賞審査員

Getty Images ジャパン (様々な思いやメッセージを想起させるような、抽象的、イメージ的にSDGsを表現した作品を評価します)

**主催** 国連広報センター 上智大学

**特別協力** Getty Images ジャパン

**後援** 外務省、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、  
国際協力機構 (JICA)、SDGs 市民社会ネットワーク

**協力** (株)シグマ、(株)ニコン、(株)ファーストリテイリング (五十音順)

**メディアパートナー** 朝日新聞社

SDGsを自分の身近なところから「何ができるか」を考え写真で表現し、多くの人たちと共有することを目的とした本学と国連が主催するグローバルな写真コンテストです。昨年は47ヶ国から600点以上の応募がありました。ぜひ皆さんもご応募下さい。



2016年大賞写真



昨年の表彰式の様子

■ 応募サイトはこちらから



[http://www.unic.or.jp/news\\_press/info/24153/](http://www.unic.or.jp/news_press/info/24153/)

各イベントへの参加申込みはこちらからどうぞ

<https://eipo.jp/sophia/seminars/>

